

# 平成31年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立双葉中学校

## ■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

## ■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／英語に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

## 1 調査結果について

### ■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は全国とほぼ同程度であり、一定の定着が見られました。特に封筒の書き方や語の一部を省いた表現についての説明を選択する問題といった言語に関する知識や理解が全国と比較しても優れていました。一方、文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える問題などの「読み取る力」に課題が見られました。
- ・数学の平均正答率は全国よりも低く、課題が見られました。資料の活用や関数を利用した問題に課題が残りました。一方、図形に関する問題が他分野と比較しても高い正答率が見られました。
- ・英語の平均正答率は全国よりも低く、特に今年度初めて実施された「話すこと」に関する定着度に課題が残りました。書くことの領域では、文中で適した接続詞を選択する問題は正答率が高かったものの、主語が3人称単数に変化したときの文法事項の理解に課題が残りました。

### ■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目  
全体的に、全国と比較してもよい傾向にありました。特に「朝食を毎日食べている」「難しいことでも、失敗を恐れず挑戦している」「地域の行事への参加」などの項目で高い数値を示していました。家庭での生活習慣の確立や地域との結びつきの深さが垣間見えました。
- ・課題となる項目  
全国と比較して著しく数値の低い項目はありませんでしたが、「学校の授業時間以外の学習」や「ICTの活用」に関する項目が、全国と比較して低い傾向にありました。

## 2 これからの取組について

### ■学校で取り組んでいくこと

- ・すべての教科のみならず、学校の教育活動のあらゆる場面で言語活動を意識した取組を行っていきます。その中で、生徒たちの実態を捉え、人間関係作り・集団作りを行いながら、学習に反映させていきます。
- ・国語では、目的をもって文章を読み、読み取ったことを言葉にして根拠を持って自分の考えとして表現できる活動を取り入れていきます。
- ・数学では、基礎基本の計算力の定着を図るとともに、資料の活用や関数に関する文章題に数多く取り組みながら、数学的なものの見方や考え方をさらに伸ばしていきます。
- ・英語では、既習の文法事項の復習を進めていくとともに、「話す・聞く」活動をA L Tを活用しながら、より積極的に学習活動に取り入れていきます。
- ・学校の授業時間以外の学習について、2者面談などを利用しながらアドバイスしていきます。
- ・パソコンなどのICT機器を利用した学習を積極的に進めていきます。

### ■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・「家庭学習の手引き」を活用し、子供たち自らが学習に取り組んでいけるように声かけをお願いします。
- ・将来を見据えた進路指導を進めていけるように、子供たちと会話する時間をとってください。
- ・生活習慣の確立が子供たちの生活を支えます。今後よろしくをお願いします。